

## 高石の 小学校

# エアコンの計画的な新規更新予定

泉北教職員組合は、11月18日『教育要求書』の交渉（二回目、障害児教育部の交渉を含む）を高石市教育委員会と行いました。  
交渉では『小学校のエアコン新規更新』に向け、重要な回答がありました。

### 重点要求

すべての教室にエアコンを設置すること。  
また小学校のエアコンも、21年度実施した中学校エアコンの新規更新と同じように、22年度中に新規更新を行うこと。  
さらに、エアコンの補修等については、特別な予算を組むなど教育委員会の責任で実施すること。

### 修理が続く エアコンの実態

当時、とても遅れていた  
『校舎の耐震化』と併せて、小学校・普通教室にエアコンが入ったのは2011年度です。

# 朗報



導入から10年が経過しました。この数年間の修理状況は次の通りです。

・19年度	6校	17教室
・20年度	4校	15教室
・21年度	6校	12教室

これらの実態をふまえ交渉を行いました。

### ◎市教委からの回答

- ①21年度は、  
■新設 小学校1校2教室  
と7校全ての体育館  
中学校1校1教室
- 修理 小学校6校12教室  
中学校2校2教室等

## 【 障害児教育部 関係 】

### ■交渉での「確認事項」

- ①「1人学級」も含む種別として設置を、教育委員会の最大限の努力を尽くすこと
- ②1クラス9人は確かに大変と感じている
- ③通級指導教室の設置に向けて努力している



と述べるにとどまりました。引き続き、取り組みの必要性を感じました。

### ◎市教委からの回答

市費での教員の雇用は本市における財政状況から、困難であると考えます。  
【交渉での追加回答】  
1クラス41人を超えている学級の子ども達が受けている負担は、大きいと思う。

②令和3年度には中学校において、普通学級39教室を含め、職員室や支援学級、少人数教室など75教室のエアコンを更新いたしました。  
小学校においても計画的に実施していくよう予算確保に努めてまいります。

以上の回答がありました。予算の最終決定は来年3月市議会です。

「努めてまいります」との回答ですが、必要性は市教委も十分認識しています。

### 重点要求

安心・安全な少人数学級（1学級20人程度）の実施を、府や国にはたらきかけることにも、小学校35人学級の前倒し実施や、中学校での35人以下学級の実施をすみやかに行うよう、府や国に強く働きかけること。  
また、それらが実現していない段階でも、市独自で40人を超える小・中学校の学級に対し特別の措置を講じること。

### 教室は

#### 『すし詰め』状態

長年の運動の結果、国は35人学級を始めました。  
しかし、今の小学校3年生以上や中学校は、少人数学級から取り残されています。

さらに、『40人超学級』が4校・4学年あります。これは、一刻も早く解消する課題です。

国が、段階的に小学校の少人数学級実施を始めた今では、『高石市独自の教員雇用』は、最長で3年間です。

これらの実態と緊急性をもって交渉に臨みました。